

# 平成25年度オープンデータ実証実験 ③観光実証

- モビリティ情報、観光情報及び防災情報を情報流通連携基盤共通APIを通して公開することで、モビリティ・マネジメント(※)等を実現する様々なアプリケーションの開発が促進されることを実証する。
- 例えば、人と公共交通優先の実現を図るため、目的地までの最短移動時間や最も安価な乗換情報などを市民や観光客に提供し、遅延も考慮した高度なナビゲーション等を実現することが可能。

※ 一般の人々や組織を対象とし、過度に自動車に頼る状態から公共交通機関や自転車等を「かしこく」使う方向へと自発的に転換していくことを促すこと

実施主体： 日本アイ・ビー・エム株式会社  
連携主体： 京都市等

